伊勢原に残る「鎌倉殿」の史録

- **1147年**　源頼朝　誕生（以下、頼朝）
- **1155年**　近衛天皇崩御・後白河天皇が即位
- **1157年**　北条政子　誕生（以下、政子）
- **1159年**　美福門院得子（鳥羽上皇の皇后、近衛天皇の生母）により糟屋荘の課役が免除される
  平治の乱　源義朝が謀殺される
  ◆糟屋荘はこの後、子の八条院暲子へ伝領
- **1175年**　頼朝　伊東の館から北条館へ
- **1176年頃**　頼朝と政子　結婚
- **1178年頃**　大姫　誕生
- **1180年**　頼朝　挙兵する
  ◆石橋山の戦い　糟屋権守盛久が平家に与す
  ◆岡崎義実（三浦の一族）の子、真田与一が討ち死する
- **1184年**　石田次郎為久が木曽義仲を討つ
  ◆一ノ谷の戦い　糟屋有季が義経とともに戦う
  ◆頼朝　高部屋郷を大山寺に寄進する
- **1190年**　頼朝　上洛する
- **1192年**　頼朝　政子の安産を祈願し神馬を奉納する（大山寺、霊山寺、三宮冠大明神）
  後の三代将軍実朝誕生
  頼朝　征夷大将軍となり、鎌倉幕府を開く
- **1194年**　頼朝　大姫の病気平癒のため霊山寺に参詣
  頼朝　歯痛のため霊山寺に代参させる　代参者は足利義兼
- **1196年**　糟屋有季　極楽寺に銅鐘を奉納
  ◆この頃までに、糟屋氏が上粕屋の川上･秋山に熊野三社を建立
- **1199年**　頼朝　死去
- **1201年**　政子　三ノ宮に浄業寺を建立
- **1203年**　比企氏の乱　糟屋有季死去
- **1205年**　北条義時　父時政に代わり二代執権となる／時政　伊豆へ追放
- **1210年**　政子　霊山寺に参詣
- **1211年**　政子　実朝夫人と霊山寺に参詣（一泊）
- **1219年**　三代将軍実朝　鶴岡八幡宮で暗殺される　（二代将軍頼家の子公暁による）
- **1221年**　承久の乱　糟屋有季の子（有久･久季）が上皇方として参戦（後鳥羽上皇の西面の武士）
- **1224年**　北条義時死去
- **1225年**　政子死去

【参考文献】
太政官牒（安楽寿院古文書）、吾妻鏡、源平盛衰記、平家物語、銅鐘銘文拓本、集古十種、上粕屋村熊野三社大権現略縁起（江戸時代末）、新編相模国風土記稿

鎌倉殿×13人の御家人たち
「ゆかりの地」めぐり

発行：伊勢原市（商工観光課・教育委員会教育総務課文化財係）／一般社団法人伊勢原市観光協会

神奈川県 伊勢原の魅力

「鎌倉殿」と伊勢原の文化財

源頼朝、北条政子 参詣の地

伊勢原市公式ホームページ特設サイト

「鎌倉殿」に関して伊勢原にゆかりのある人物や寺社などを中心に、他では語られない歴史・文化財を紹介しています。

神奈川県 伊勢原の魅力

「鎌倉殿」と伊勢原ゆかりの地をめぐる

大山寺（おおやまでら）

奈良時代の天平勝宝7（755）年、良弁（ろうべん）僧正により聖武天皇の勅願寺として開創。源頼朝は鎌倉に本拠を構えて大山寺を篤く信仰し、平家追討中の寿永3（1184）年には戦勝祈願もあってか高部屋郷を寄進した。この頃頼朝が太刀を奉納したとされる大山寺への信仰の故事が、江戸時代に爆発的流行となった「納め太刀」の由来となっている。

小田急線伊勢原駅北口4番のりばから「大山ケーブル行」バスで終点下車、こま参道を徒歩15分、大山ケーブルカー乗車「大山寺駅」下車徒歩2分

住 伊勢原市大山724

日向薬師・宝城坊（ひなたやくし・ほうじょうぼう）

（鎌倉時代の霊山寺）

奈良時代の霊亀2（716）年、行基（ぎょうき）により霊山寺（りょうぜんじ）として開創。源頼朝は、建久3（1192）年に政子の安産祈願のため神馬（しんめ）を、市内の大山寺と比々多神社と合わせて奉納し、建久5（1194）年には愛娘大姫の病気平癒祈願のため、後に「13人の御家人」となる6人（北条義時・大江廣元・梶原景時・和田義盛・三浦義澄・八田知家）を引き連れて直接参詣に訪れた。市内には頼朝の馬を沢で洗った洗水（あらうず）や、山門前で旅装を解き白装束に正装した衣裳場（いしょうば）など頼朝に関する地名が伝わっている。また、北条政子は承元4（1210）年に大姫の十三回忌に、また翌建暦元（1211）年には頼朝の十三回忌に実朝夫人を伴って参詣したと吾妻鏡に記されている。

小田急線伊勢原駅北口3番のりば「日向薬師行」バス終点下車、徒歩15分

住 伊勢原市日向1644

浄業寺跡（じょうぎょうじあと）

鎌倉時代の建仁元（1201）年、北条政子は、建久10（1199）年に亡くなった源頼朝の菩提を弔うため、三ノ宮字竹ノ内に釈迦三尊像を祀って石蔵山浄業寺（せきぞうさんじょうぎょうじ）を建立した。この寺はのちに荒廃し、江戸時代には黄檗宗（おうばくしゅう）の寺院として再興した。しかし明治初期に廃寺となった。

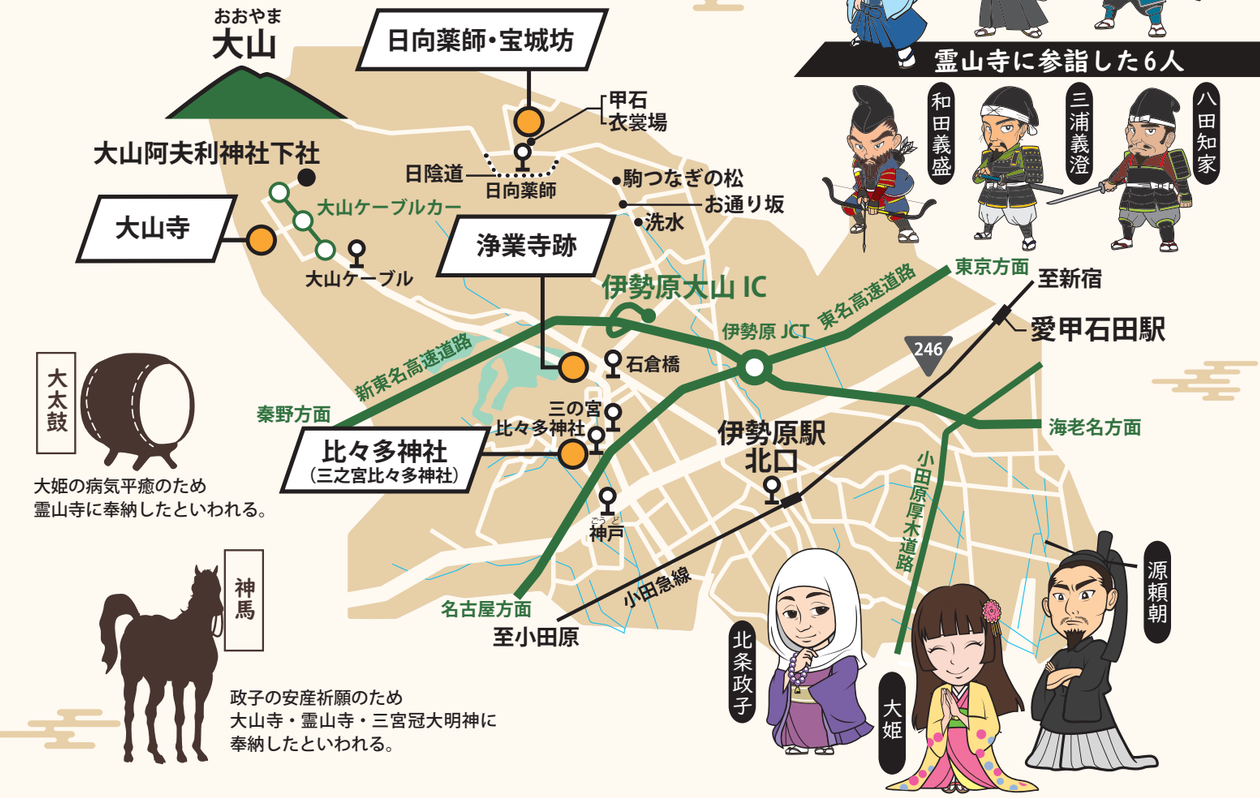
小田急線伊勢原駅北口4番のりばから「大山ケーブル行」バスで「石倉橋」下車、徒歩8分

住 伊勢原市三ノ宮583 付近（大山バイパス沿い）

比々多神社（ひびたじんじゃ）

（鎌倉時代の三宮冠大明神）

平安時代中期の「延喜式神名帳」に記載されている式内社のひとつ。周囲には多数の古墳が存立することから、律令期以前から、神聖な地として崇められていたことがわかる。天長9（832）年には淳和天皇から「冠大明神」の神号を賜り、源頼朝からはこの神号に対し政子の安産祈願のために神馬（しんめ）が奉納された。

小田急線伊勢原駅北口1番のりばから「栗原行」バスで「比々多神社」下車または、小田急線伊勢原駅北口1番のりばから「鶴巻温泉駅行」バスで「神戸」下車徒歩15分

住 伊勢原市三ノ宮1472